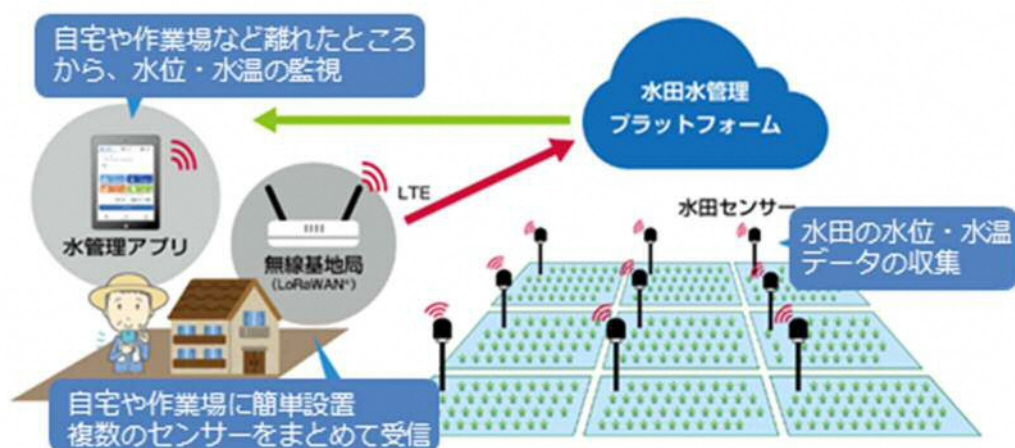


## 施策体系 2 生産力の向上



農地の集積やスマート技術の導入によって効率的で安定的な経営の実現を図るほか、森林経営計画の策定を進めることで森林の循環的な利用を促進します。また、資源管理型の漁業を推進し、将来にわたって安定した経営の実現を目指します。

施策分野	重要業績評価指標（KPI）
(1) 担い手への農地集積	担い手への農地集積割合 35%
(2) 所得の向上、安定化	スマート技術導入支援件数 累計 5件
(3) 森林経営の支援	森林経営計画策定数 累計 15件
(4) 資源管理型漁業の推進	スマート技術の活用件数（漁業） 累計 50件



スマート農業（水田管理システム）のイメージ



植林された斜面



ヒラメの種苗放流

## 基本方針Ⅱ 生産環境の保全・整備

### 施策体系 1 生産基盤整備

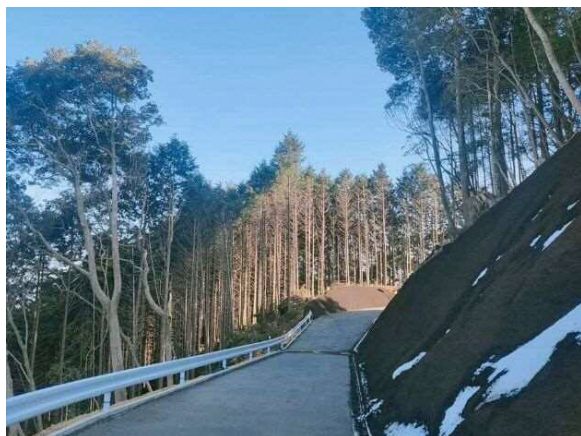


農林水産業の生産基盤である「農地」、「林道」、「漁港」の整備に引き続き取り組み、作業効率の向上を図るとともに、遊休農地の復旧、農業施設の適正な管理などに取り組み、農林水産業を持続できる生産環境を整備します。

施策分野	重要業績評価指標（KPI）
(1) 遊休農地の発生防止・解消	農地復旧面積 累計 5 ha
(2) ほ場整備	新規ほ場整備面積 5 ha
(3) 農業施設の適正管理	農業施設維持管理計画の策定（R 5年度）
(4) 林道の整備	林道の開設・改築 2 路線
(5) 漁港整備	整備漁港数 8 港



ほ場整備（左：整備前 右：整備後）



新設された林道



整備された漁港



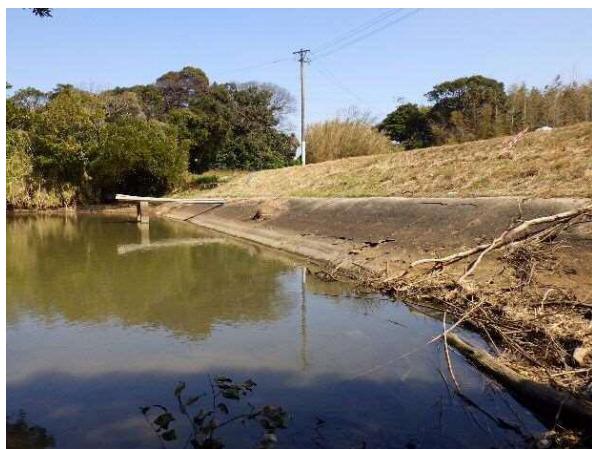
## 施策体系2 国土保全・公益的機能の向上



洪水や土砂災害の防止等の国土保全や水源涵養<sup>かんよう</sup>の観点から、農業用ため池の防災対策、荒廃森林の整備、放置竹林の拡大抑止などに取り組みます。

また、生物多様性に富む藻場・干潟の造成・保全や環境負荷を軽減する有機農業の推進に取り組みます。

施策分野	重要業績評価指標（KPI）
国土保全・公益的機能の向上	多面的機能を評価する市民の割合 85%
(1) ため池防災対策の推進	防災重点農業用ため池対策劣化状況調査実施数 154 か所
(2) 荒廃森林の整備	荒廃森林整備（強度間伐等）面積 累計 300ha
(3) 放置竹林の拡大防止	竹林伐採面積 年間 20ha
(4) 漁場環境の保全と整備	藻場造成面積 年間 5,000 m <sup>2</sup>
(5) 環境負荷の低減	有機農業実証試験実施数 5件



ため池整備（左：整備前 右：整備後）



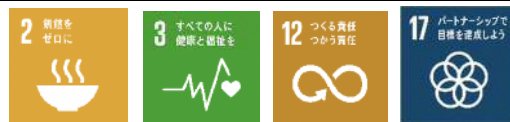
伐採した竹材



藻場の造成

## 基本方針Ⅲ 都市と共存する農林水産業の推進

### 施策体系 1 地産地消の推進



北九州都市圏（圏域人口 136 万人）の消費地市場に近接しているメリットを活かし、SNSによる情報発信、「食」に関するイベントの開催、学校給食での利用促進、直売所や朝市への支援などにより市内産農林水産物の消費拡大を図ります。

施策分野	重要業績評価指標（KPI）
地産地消の推進	地産地消を実践する市民の割合 30%
（1）情報発信の強化	情報発信回数 年間 300 回
（2）食育の推進	給食の新規取扱品目数 累計 5 品目
（3）農商工連携	異業種マッチング回数 累計 5 回
（4）ブランド化支援	新規ブランド数 5 品目
（5）流通・販売支援	直売所・朝市の販売額 20 億円



食に関するイベント（農林水産まつり）



小学生の食育（農作業体験）



市内産農林水産物を使用した給食



水産物の朝市